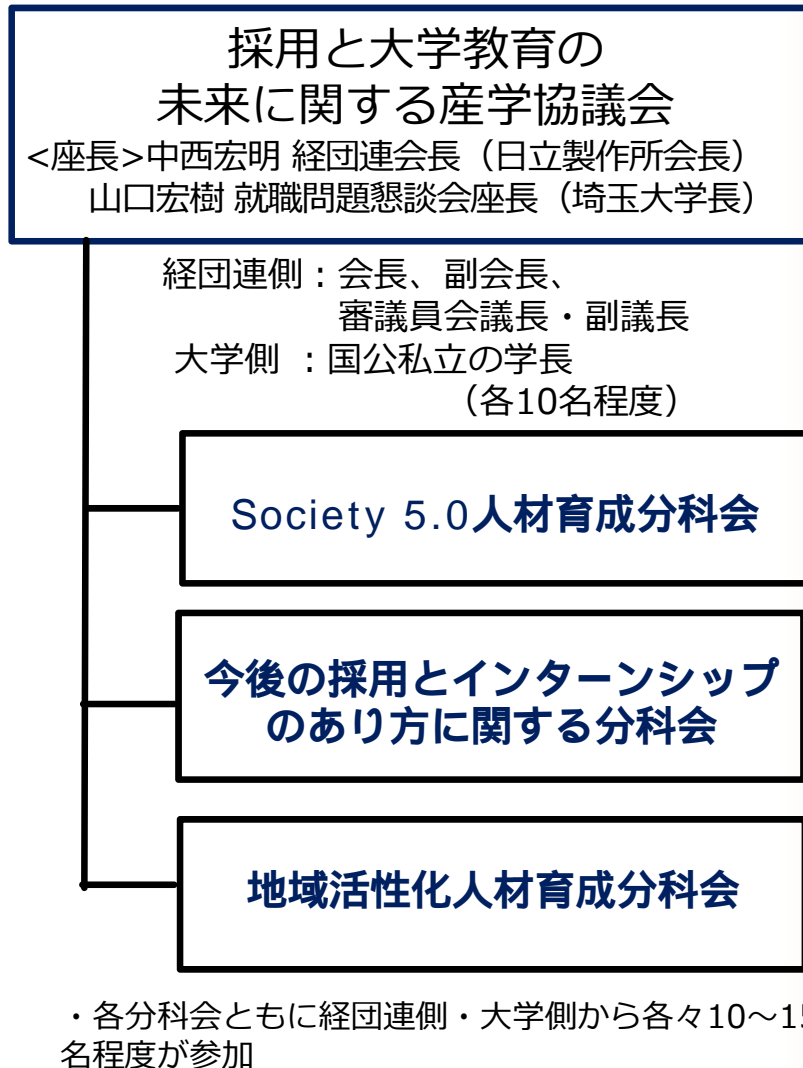


採用と大学教育の未来に関する 産学協議会

- 「中間とりまとめと共同提言」概要
及び現在の活動 -

2019年10月8日
一般社団法人日本経済団体連合会

<構成>



<第1回産学協議会（1/31）における主な発言>

- 問題意識は、採用スケジュールだけでなく、今後の日本を支えて国際社会で活躍できる人材育成のための大学教育や中長期的な採用のあり方。
- Society 5.0時代には、専門知識のほかに、文理の枠を超えた幅広い教養と数学や情報科学等の基礎的素養を、全ての大学生が身につけることが期待される。
- 一方、企業も、これまで学生に求める具体的な能力やキャリア形成に対する考え方を大学や社会に明確に発信してこなかった点は反省すべき。
- 従来の新卒一括採用・終身雇用制度の限界が顕在化し、求める人材が多様化するなか、採用のあり方を再検討する必要がある。学生にも「就社」ではなく「就職」の意識が必要。

Society 5.0 時代の人材育成に向け、「多様性」をキーワードに産学の連携強化を図ることで一致。分科会で具体的なアクションプランを検討。

共有した認識を4月に中間的に共同提言としてとりまとめ、5月の未来投資会議に報告

「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」名簿

(敬称略・順不同)
 (◎は座長)
 * 役職は2019年4月当時

【大学側】

就職問題懇談会 座長(埼玉大学 学長) 山口 宏樹

国立大学協会 前会長(京都大学 総長) 山極 壽一

日本私立大学団体連合会 会長(早稲田大学 前総長) 鎌田 薫

日本私立大学団体連合会 代議員・就職問題委員会委員長(明治大学 学長)
 今後の採用とインターンシップのあり方に関する分科会長 土屋 恵一郎

日本私立大学団体連合会 代議員(桜美林大学 理事長・総長) 佐藤 東洋士

公立大学協会 会長(静岡県立大学 学長)
 地域活性化人材育成分科会長 鬼頭 宏

東京大学 総長・未来投資会議 議員 五神 真

筑波大学 学長・中央教育審議会副会長/大学分科会長 永田 恭介

国際基督教大学 学長・中央教育審議会 前将来構想部会副副会長
 日比谷 潤子

【経団連側】

会長(日立製作所会長) 中西 宏明

審議会議長・震災復興特別委員長・地域経済活性化委員長
 (野村ホールディングス取締役会長) 古賀 信行

副会長・教育問題委員長・雇用政策委員長
 (東京ガス相談役) 岡本 毅

副会長・産業競争力強化委員長・中国委員長
 (日本製鉄代表取締役会長) 進藤 孝生

副会長・通商政策委員長・アメリカ委員長
 (トヨタ自動車副会長) 早川 茂

副会長・労働法規委員長・南アジア地域委員長
 (東日本旅客鉄道取締役会長) 富田 哲郎

審議会副議長・教育問題委員長・消費者政策委員長
 (第一生命ホールディングス代表取締役会長) 渡邊 光一郎

審議会副議長・地域経済活性化委員長
 (箔一会長) 浅野 邦子

審議会副議長・通商政策委員長・日本ベトナム経済委員長
 (住友商事取締役会長) 中村 邦晴

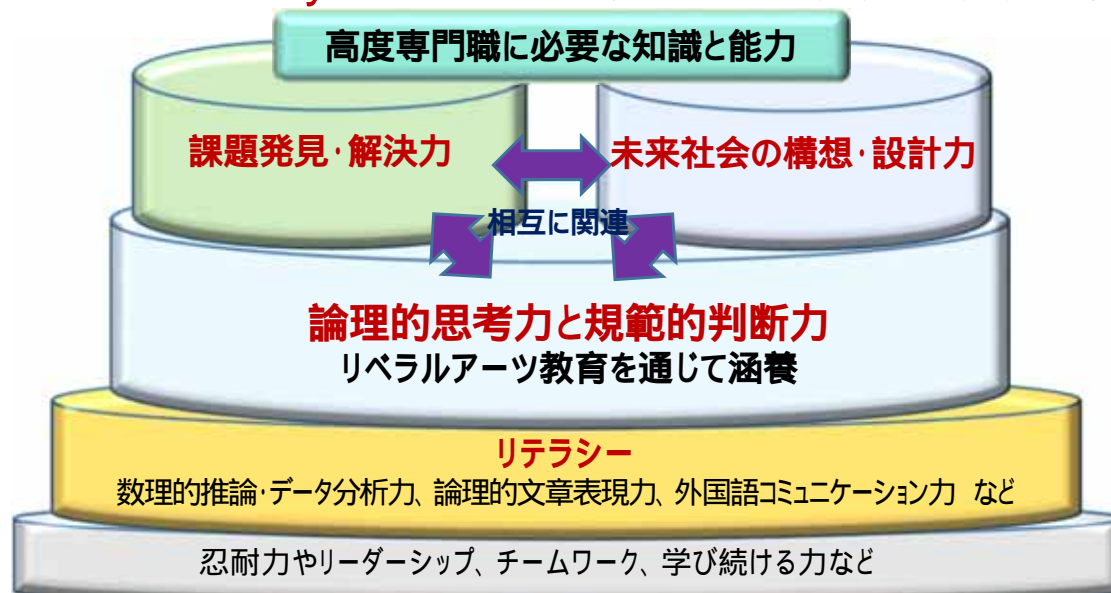
審議会副議長・情報通信委員長・国際協力委員長
 (日本電気代表取締役会長) 遠藤 信博

審議会副議長・情報通信委員長
 (日本電信電話取締役会長) 篠原 弘道

審議会副議長・運輸委員長
 (セブン&アイ・ホールディングス社長) 井阪 隆一

経団連事務総長 久保田 政一

1. Society 5.0時代に求められる人材と大学教育



- 最終的な専門分野が文系・理系であることを問わず、リテラシー（数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、外国語コミュニケーション力など）や論理的思考力と規範的判断力をベースに社会システムを構想・設計する力などが求められ、これらの能力を身につけるためには、基盤となるリベラルアーツ教育が必要
- こうした能力を育成するためには、**初等中等教育から始めて大学院レベルまでの教育が必要**
- 大学における**社会人リカレント教育の拡充が必要**

2. 今後の採用とインターンシップのあり方

- 今後は新卒一括採用（メンバーシップ型採用）に加え、ジョブ型雇用を念頭においた採用も含め、**複線的で多様な採用・雇用形態に、秩序をもって移行すべき**
- 今後、**企業は卒業・学位取得に至る全体の成果を重視するとともに、大学は卒業要件の厳格化を徹底すべき**
- インターンシップの目的、意義、内容、期間等について、**産学および社会的な共通認識の確立が必要**

3. 地域を支える人材の育成に関する現状と課題

- 地域は大都市圏の大学への進学や大都市圏の企業への就職による**人材流出が激しく、地域が求める人材の還流が少ない**
- 一方で、Society 5.0の実現に向けた取り組みが進む中で、地域にこそ大きな可能性と機会があり、**Society 5.0の実現を通じて地域に魅力的な雇用機会が創出されることが期待される**
- 地域の抱える課題の解決に向けて、**学生と地域の接点の増大、地域の産業発展・新産業創出のシーズと企業ニーズのマッチング、地域に存する大学の運営資金の確保、地域の大学間の連携推進に取り組むことが必要**

「産学協議会」現在の活動（1）

- **各分科会の下にタスクフォース（以下、TF）を設置（8月）**し、データ・事例収集、横展開に向けた要素の抽出、課題の洗い出し・整理、課題解決に向けたアイデア出しなどを行う。
- TFでの作業を受けて、適宜分科会を開催し、産学が共同で実施できる具体的なアクションや、2030年を見据えた今後のあり方について検討する。
- TF・分科会での検討を踏まえ、来年春頃を目途に第3回産学協議会を開催、産学への提案事項や政策提言などを取りまとめ・公表。就職問題懇談会や政府における検討などにインプットする。
- あわせて取組みを開始できる共同アクション等については、随時、開始する。



分科会	傘下に設置されたタスクフォース（TF）
Society 5.0人材育成分科会	Society 5.0時代のPBL型教育促進TF
	社会人リカレント教育活性化TF
今後の採用とインターンシップのあり方に関する分科会	採用形態の変化への対応検討TF
	キャリア教育 / インターンシップ・プログラム開発TF
地域活性化人材育成分科会	地域連携推進検討TF

タスクフォース	検討内容
Society 5.0時代のPBL型教育促進TF	<p>Society5.0人材育成に資するPBL型プログラムの事例調査</p> <p>PBL型教育の推進・横展開に向けた課題、仕組みづくり</p>
社会人リカレント教育活性化TF	<p>Society5.0時代のリカレント教育に対するニーズ調査、課題把握</p> <p>質の高いプログラムの横展開のための仕組み、制度的な課題</p>
採用形態の変化への対応TF	<p>新卒一括採用に加えて、複線的で多様な採用形態に秩序をもって移行するための課題の整理</p> <p>学生の学修経験時間を確保するための具体策</p>
キャリア教育/インターンシッププログラム開発TF	<p>キャリア教育（1～2年生対象）とインターンシップ・プログラム（3～4年生対象）の内容・定義、マッチングの仕組み・プラットフォーム</p> <p>インターンシップで得た学生情報の広報・採用選考活動への活用の是非</p>
地域連携推進TF	<p>地域経済の将来ビジョンと地域における産学官の連携の好事例の収集、横展開すべき要素や課題の整理</p>

以上